

荒尾市公式ホームページリニューアル業務 仕様書

1 概要

本市の現在の公式ホームページは平成28年4月にリニューアルしたものであり、約5年が経過している。その間、本市の様々な情報を詳しく知ることができる媒体として気軽に利用していただけるよう、より多くの情報をできる限り見やすく掲載するよう努めてきたところである。しかし、情報が充実したホームページとなる反面、それに伴いカテゴリ分類が複雑化し、閲覧者が記事にたどり着きにくい、リンク・ナビゲーションの管理を適切に行うことが難しくなってきたなどといった問題を抱えていた。さらに、近年はSNSの普及に加え、AIチャットボットが一般化してきたことなどから、市がホームページ等から提供する情報についても、他の媒体との連携や情報の双方向性などが求められるようになってきており、多様化するニーズにどう対応していくかが課題となっていた。そのような中、令和2年は新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に加え、7月豪雨災害では通信回線が断裂し、数日間ホームページが利用できなくなるという事態が発生した。通常時はもとより、市民が不安を感じる状況下において迅速かつ安定した情報発信を行うことがいかに重要で、市への信頼を高めるものであるかを改めて痛感したことから、緊急時の対策について更に強化するとともに、これまでの様々な課題の解決を図るためリニューアルを実施するものである。

また、シティプロモーションの一環として、本市が全国に先駆けて進めている様々な取組を感じてもらえるよう、先進的でより利用しやすい、魅力的なホームページにリニューアルしたいと考えている。以上のことから、このリニューアルに当たっては、特に次の点に重点を置いている。

- ・誰でもどんな時でも必要とする情報に容易にたどり着くことができること。
- ・災害発生等の緊急時でも迅速かつ継続的に情報が提供できること。
- ・他の媒体と連携するなど、緊急時においても効率的に迅速な情報発信ができること。
- ・一見して市の魅力を感じられる優れたデザイン性があること。
- ・その他5Gサービスの対応など現状で予測される将来の利用者ニーズ、技術革新等に柔軟に対応できる拡張性を有していること。

2 履行期間等

履行期間：契約締結日から令和3年12月31日まで

履行場所：荒尾市役所、受託業者の所在地及び荒尾市が指定する場所

3 事業取組方針

下記の取組方針に基づいてリニューアルを実施すること。

- (1) 利用者が必要とする情報に簡単にたどり着くことのできるホームページであること。
(トップページから目的の情報にたどり着くまでに原則3クリック、最大でも5クリック程度)
- (2) 本市の魅力・特色を市内外へ効果的に発信できること。特に「スマートシティ」、「荒尾ブランド（観光含めた資源）」及び「Well-being 荒尾」については大きく取り上げること。
- (3) 高齢者や障害者も含め、誰もが利用できるホームページであること。
- (4) 入札に関する情報等を一箇所にまとめ、事業者が閲覧しやすいページであること。
- (5) 多言語に対応したホームページであること。
- (6) レスポンシブウェブデザインを採用し、パソコンだけでなくスマートフォン・タブレットなどからも閲覧が可能なホームページであること。
- (7) 移行対象は、現行の荒尾市ホームページ (<https://www.city.arao.lg.jp>) サイト内の必要な情報全てとすること。
- (8) SNS (LINE・Twitter・facebook等)と連携のとれたホームページであること。
- (9) 災害対応に考慮したトップページとすること。

- (10) 職員からの受託業者への問合せ等を円滑にするとともに、提案などに利用するため、CMS（コンテンツマネジメントシステム）にQ/Aサイトを構築し、当該Q/Aサイトで問い合わせた事項への回答等を職員が参照できるようにすること。
- (11) 予算の範囲内外に関係なく、可能な追加機能があれば積極的に提案すること。

4 業務の内容

- (1) CMS（コンテンツマネジメントシステム）の導入
 - ア ホームページの維持管理を行うためのCMSを導入すること。
 - イ 導入を行うCMSについては、過去3年以内に自治体又は自治体に準じる組織での導入実績があるソフトウェアとすること。
 - ウ CMS機能を利用して掲載する情報については、本市担当者で入力、更新及び削除が可能な仕組みとすること。
 - エ ワークプロを扱う感覚で入力できるような操作性を考慮すること。
 - オ CMSを利用するユーザー、カテゴリ名及び階層構造、本市組織情報及びページ生成用のCMSテンプレートを構築及び設定すること。
 - カ CMSに求める機能は、別紙1「CMS機能要件一覧」を満たすこと。
- (2) スマートフォン及びタブレット端末への対応
 - スマートフォン及びタブレット端末による閲覧にも最適化したウェブサイトを構築すること。
- (3) セキュリティ対策
 - ア 外部からの不正アクセスやデータ改ざん等の悪意ある攻撃を受けた際の対策を講じること。
 - イ OSの脆弱性を解消するために、常に最新のセキュリティパッチを適用すること。
 - ウ 経費内で実現可能なウイルス対策等を行うこと。
- (4) システム構成
 - ア CMSサーバとサーバの運用は、受託業者が用意する外部のデータセンターで行うこと。
 - イ 障害時等の復旧を速やかに行うためWebサーバは多重化を行うこと。多重化するWebサーバは、広範囲での災害等を想定し、他県に置くなど十分な距離を取るとともに、非常時には回線を切り替える程度の作業で公開が可能なものとする。
 - ウ 本業務におけるサービスは、別紙2「データセンター要件一覧」を満たしたデータセンターより提供すること。
 - エ 運用開始から5年間の使用を想定した仕様のサーバを選定すること。
 - オ ドメインについては、現行のものを継続して使用すること。
 - カ 全てのページについてSSL化暗号化通信を導入すること。
- (5) ホームページの構造設計
 - ア 利用者にとっての使いやすさ及び情報の探しやすさを優先し、タイトルからコンテンツの内容が想像できるラベリング・設計を行うこと。
 - イ レスポンシブデザインのホームページを構築すること。
 - ウ 新ホームページで必要なページを新規作成すること。
 - エ 本市に導入している減災システムと連携すること。なお、減災システムとの連携概要や仕様等は別紙3のとおりとする。
 - オ SNS（LINE・Twitter・facebook等）との連携を図ること。
 - カ 機械翻訳による外国語翻訳（英語、簡体字、繁体字、韓国語）に対応し、閲覧したいページへスムーズに誘導できるようにすること。言語によって画像を変更したり、誤訳の訂正などを行えるシステムを導入すること。
 - キ ページのアクセス解析ができるようにすること。
 - ク サイト内を検索できるよう、キーワード、絞り込み検索機能を付けること。
 - ケ 外部からの問合せに対応できるメールフォーム機能を付けること。
 - コ アンケート機能を有すること。
- (6) デザイン作成

- ア ホームページのデザインについては、アクセシビリティ、ユーザビリティ等を考慮すること。
 - イ 荒尾市の地域特性などを反映した「荒尾市らしさ」と「利用者にとっての分かりやすさ」を重視したトップページのデザイン（2案以上）を作成すること。また、サイト全体の統一感のある下層ページのデザインを作成し、テンプレート化すること。
 - ウ 災害時など緊急のお知らせをトップページに表示できるようにすること。
 - エ バナーをトップページに表示できるようにすること。
- (7) アクセシビリティ対応
- ア JIS X 8341-3:2016 の等級「AA」に準拠したホームページコンテンツを作成することを原則とする。
 - イ アクセシビリティの評価については、総務省から配布されたアクセシビリティ評価ツールを用いた試験を行うこと。また、ホームページ公開後、同試験結果を本市に提供すること。
 - ウ 作業に当たっては、原則として全て受託業者が行うこと。
 - エ アクセシビリティ配慮の重要性や具体的な対応方法を記した「ウェブアクセシビリティガイドライン」を作成すること。
 - オ アクセシビリティについて機械的に検証する機能をチェック項目数とともに提案すること。
- (8) コンテンツ移行
- ア 現行ホームページで公開している必要な情報全てを移行すること（約2,000ページを想定）。
 - イ 現行ホームページから新CMSへの移行は、原則全て受託業者が実施すること。
 - ウ ページに添付されているPDFなどのファイル、画像についても移行すること。
 - エ 移行するページはJIS X 8341-3:2016の等級「AA」に準拠すること。
 - オ 移行後のページは、CMSを用いて修正、公開及び削除作業が行える状態にすること。
 - カ データ移行時に職員作業が生じる際は、その内容を事前に提案すること。
 - キ データ移行されていることを確認すること。
- 【現行サイトの状況】
- ・操作職員数 約130ユーザー
 - ・ページビュー数（トップページ） 月平均約42,000（令和2年度実績）
- (9) 職員端末への適用
- 庁内ネットワークに接続されたクライアント端末よりブラウザのみ利用可能で、専用ソフトウェアのインストールが不要なシステムであること。
- なお、庁内イントラネットに接続されているクライアント端末の環境は次のとおりである。
- OS：Windows8.1/Windows10/Windows Server 2012 R2
 ブラウザ：Internet Explorer11/Edge 最新版/Firefox 最新版/Google chrome 最新版/Safari 最新版
- (10) リニューアル時の対応
- ア リニューアル時に発生が予想される事案を洗い出し、事前に回避できない事案については対応策を提案すること。また、リニューアルに伴うURLの削除や変更を想定し、閲覧者や関係団体への周知方法及びリニューアル後の対応を提案すること。
 - イ リニューアル時に問題が発生した場合には、受託業者が瑕疵対応として無償で対応すること。
- (11) 業務を行うに当たってのセキュリティ対策
- ア 使用する端末については、常に最新のバージョンを維持して感染防止に努めること。
 - イ 情報漏えい対策が十分にとられていること。
 - ウ 異常又は障害が発見された際には、直ちに本市へ連絡すること。また、障害発生時には、原因を調査の上、報告書を提出すること。

5 開発推進体制の要件

業務遂行に当たり以下の要件を満たす体制を提案すること。

- (1) 提案者、CMS開発元及び保守関連会社の協力体制を、それぞれの役割を含め明示すること。
- (2) ホームページの構築に当たり、総括担当者は、開発推進全体の管理・運営に十分な能力を持つ人材が行うこと。それを前提に、総括管理者及び業務別管理者については、それぞれの氏名、資格及び経験（自治体ホームページ制作実績、CMS導入実績等）について明示すること。また、開発推進体制全体の人数を、業務別に明示すること。
開発の作業拠点を明示すること。作業に当たっては、本市と十分連携が取れるようにすること。
- (3) 重要事項の打合せには、担当する技術者が必ず出席し、仕様等の調整が図れる体制を整えること。

6 納品

(1) 納品物

リニューアル完了後、履行期限までに下記の書類等を提出すること。紙媒体と電子媒体（CD-Rなど）を各1部納品すること。

- ア サイトマップ
- イ ホームページ構造設計書
- ウ デザイン設計書
- エ コンテンツ移行記録
- オ システム管理者向け操作マニュアル
- カ コンテンツ作成者向け操作マニュアル
- キ 運用マニュアル
- ク 研修用マニュアル（必要に応じて）
- ケ 障害対応マニュアル
- コ アクセシビリティガイドライン
- サ 議事録
- シ 業務完了届

7 その他業務遂行上の留意点

(1) 再委託

受託業者は、デザイン、設計、データ移行、公開等の各工程を一括して受託者内で完結できること。基本的には第三者委託を禁止とする。再委託する場合には、あらかじめ本市の同意を得るものとし、再委託先の行った作業の結果については、受託業者が全責任を負うこと。

(2) 守秘義務

- ア 個人情報、秘密と指定した事項及び業務の履行に際し知り得た秘密を第三者に漏らし、又は不当な目的で利用してはならない。契約終了後も同様とする。
- イ 個人情報保護のため、受託業者及び再委託先については、プライバシーマーク付与事業者に限るものとする。

(3) 著作権

作成される成果物の著作権等の取扱いは、次に定めるところによる。

- ア 業務の中で作成された成果物の所有権、著作権及びその他の権利は、本市に帰属するものとする。ただし、成果物に受託事業又は第三者の著作物が含まれている場合、当該著作物（当該著作物を改変したものを含む。）の著作権は、従前からの著作権者に帰属するものとする。
- イ 業務の成果品等に、受託業者が従前から補修する知的財産権（著作権、ノウハウ、アイデア、技術及び情報を含む。）が含まれていた場合には、権利は受託業者に留保されるが、本市は、業務遂行上必要となる範囲において、これを無償で利用できるものとする。
- ウ 受託業者は、本市に対し、著作権人格権を行使しないものとする。

1. システム構成		
項目	番号	内容
基本情報	1-1	クライアントPCからCMSサーバにインターネットを経由してアクセスし、コンテンツを作成・更新できること。
	1-2	バックアップデータを取得し、緊急時にはデータを復元できること。
	1-3	バックアップデータは閲覧者に影響の少ない深夜帯に取得し、1日1回以上保存すること。
	1-4	24時間365日有人による監視が行われているサーバであること。
	1-5	IPアドレスにより、接続元の制限ができること。
	1-6	使用するサーバのハードディスク容量については、長時間使用することで容量が大きくなっても拡張が可能であること。
セキュリティ	1-7	個人情報漏えいを未然に防ぐため、メールフォームでの送信時には、SSL暗号化通信を行うこと。
	1-8	SSLサーバ証明書は有料のものを使用すること。
エラー、ログ対応	1-9	システムエラーは、メールによりシステム管理者に送信すること。
	1-10	アプリケーションログは、クライアント及びサーバ双方に記録すること。また、記録の要否をサーバ側の設定で切替えができること。
	1-11	エラー発生時は、エラー内容をクライアント側に表示するとともに、ログを取得し、管理者へ詳細内容をメール送信すること。また、エラーによる影響を他の利用者に及ぼさないようにすること。

2. CMS(基本情報)		
項目	番号	内容
基本情報	2-1	CMSの導入を前提としたホームページの構築又は改修の実績を有するCMSであること(過去3年度以内(平成29年4月1日以後)に、国又は地方自治体において5件以上の採用実績があること。)
	2-2	CMS利用に当たって、各職員のPC端末に、特別なアプリケーションなどをインストールする必要がないこと(ウェブブラウザから利用できること。)
	2-3	各職員のPC端末からInternet Explorer、Edge、Fire Fox、Google Chrome及びSafariの最新版を通じ、ID・パスワード認証でCMSにログインできること。
	2-4	閲覧者の利用する端末の機種、OS、ブラウザ、通信回線等の利用環境に依存することなく、ホームページを閲覧できること。
	2-5	ユーザー数又はページ数の増減により、サービス提供業務(インフラ関連)に係る価格が変動しないこと。
	2-6	サイト全体を統一したデザインで管理できること。
エラー、ログ対応	2-7	システムエラーは、メールによりシステム管理者に送信すること。
	2-8	アプリケーションログは、クライアント及びサーバ双方に記録すること。また、記録の要否をサーバ側の設定で切替えができること。
	2-9	エラー発生時は、エラー内容をクライアント側に表示するとともに、ログを取得し、管理者へ詳細内容をメール送信すること。また、エラーによる影響を他の利用者に及ぼさないようにすること。

3. CMS(ページ作成機能)		
項目	番号	内容

基本的な仕様	3-1	サイト閲覧時の表示を極力速くするため、CMSから静的HTMLファイルを生成し表示する形式のCMSであること。
	3-2	生成されるHTMLのバージョンは、HTML5であること。
	3-3	UTF-8の文字コードに対応すること。
	3-4	静的HTMLファイルの中で更新頻度の高い部分だけ動的に表示できること。
アクセシビリティ	3-5	全てのページで文字拡大機能を利用できること。
	3-6	共通メニューの読み飛ばしができるようにHTMLファイルが自動的に生成されること。
	3-7	文字の拡大縮小表示機能を有すること。
	3-8	背景色及び文字色を切り替える機能を有すること。
	3-9	任意に閲覧中のページに振り仮名を表示させることができること。
	3-10	任意に閲覧中のページを読み上げる機能を有すること。
	3-11	ページに添付ファイルを掲載する場合はファイル容量及びファイルの種類が自動で表示されること。
	3-12	複数の音声読み上げサービスに対応できるように、作成されたページのソースはアクセシビリティに配慮したものであること。
	3-13	リンク先が外部サイトの場合は外部サイトであることを明記すること。
	3-14	CMSで利用するテンプレートは、JIS X 8341-3:2016に準拠し、達成基準の「A」「AA」の等級を満たし、可能な部分については等級「AAA」の達成基準を満たすこと。
3-15	編集中のページについてJIS X 8341-3:2016に示されたアクセシビリティをチェックし、問題がある場合には注意喚起を行い、簡単なものは半自動で修正されること。	
ページの作成・公開	3-16	入力画面は、ワープロソフトのようなWYSIWYGインターフェイスを実装していること。
	3-17	WYSIWYGのほかに、一行入力、複数行入力、見出し、画像、添付ファイル、リスト、動画等決まった入力項目に情報を設定するブロック型の入力が可能なインターフェイスを実装していること。
	3-18	実際に公開される画面に近い形で本文の入力が可能なこと。
	3-19	ページのタイトルとは別に新着情報やお知らせなど、一覧ページに表示する一覧用タイトルの設定ができること。また、一覧用タイトルが未入力の場合はページのタイトルを引用すること。
	3-20	ページタイトルの文字数を制限できること。また、無制限にすることも可能なこと。
	3-21	ファイルの保存時には、連番ではない任意のファイル名を指定できること。
	3-22	HTMLソースの編集ができること。
	3-23	検索用キーワードを設定できること。
	3-24	ページごとにdescriptionの指定を行えること。
	3-25	コンテンツの要約文章を登録できること。
	3-26	Metaタグを入力しなくても規定の内容を自動挿入できること。
	3-27	見出しの設定が容易にできること。
	3-28	箇条書きの設定が容易にできること。
	3-29	テーブルセルの結合及び解除が容易にできること。また、結合方向を上下左右に指定できること。
	3-30	テーブル見出し、行見出し及び列見出しを容易に設定できること。
	3-31	MS Word及びExcelで作成した内容の貼付けができること。このとき、アプリケーション固有のタグは削除されること。

	3-32	管理者が指定する任意の HTML 属性や文字列の削除及び置換ができること。
	3-33	テンプレートを使用し、全コンテンツが統一したデザインになること。
	3-34	テンプレートを自由に編集及び追加作成できること。
	3-35	テンプレートの変更は容易にできること。
	3-36	新着情報など、一覧ページに表示するサムネイル画像を登録できること。
	3-37	ページ作成時にイベントカレンダーへの表示、公開日・終了日の設定、アクセシビリティチェック、格納するカテゴリ等のページ公開に関する各種設定を行えること。
	3-38	ページ作成時に必須入力箇所が未入力であった場合は警告が表示されること。
	3-39	自由入力形式のほか、あらかじめ入力項目を設定した定型入力フォームを利用できること。
	3-40	定型入力フォームは自由に作成できること。
	3-41	入力項目の説明機能を有すること(オンラインヘルプ可)。
	3-42	アカウントに設定された編集権限のないページは編集できないよう制限できること。
	3-43	作成途中のページを一時的に保存し、再ログイン後に編集を再開できること。
	3-44	コンテンツ作成者が、公開開始日・公開終了日を入力することで、指定した日時にコンテンツの自動更新ができること。
	3-45	公開期間を分単位で設定することができること。また、公開終了を無期限とすることができること。
	3-46	公開中のページを非公開にする場合は、非公開にすることでリンク切れとなるページを警告として表示すること。
	3-47	公開中のページを非公開にすることなく、ページを修正し、ワークフローで承認の上、修正後のページに差し替えられること。
	3-48	ページ内に公開日(最初に公開した日)を表示できること。
	3-49	同一ページを同時に複数人で編集している場合に警告を表示し、編集できないこと(排他制御)。
	3-50	ページの内容をそのまま別ページとして複製できること。
	3-51	Twitter、Facebook 等のソーシャルシステムへのシェアリンクを自動表示できること。
	3-52	自動的に OGP タグが設定され、SNS に適切に表示されること。
	3-53	ページ公開と連動して、あらかじめ指定された Twitter へ自動投稿ができること。
	3-54	CSV による一括編集が可能なこと。
	3-55	ドロップダウンメニューを作成できること。
	3-56	世代管理が可能なこと(5 世代分の自動保存バックアップからの復元)。
	3-57	世代管理では、変更箇所を視覚的に分かりやすく確認できること。
	3-58	削除したページは、一旦ゴミ箱に保存され、いつでも復元できること。
プレビュー	3-59	ページ公開前に公開イメージをプレビューとして確認できること。
	3-60	コンテンツ作成時に、当該コンテンツからのリンクをたどる形で内部リンク先のコンテンツも含めてプレビューできること。
	3-61	特定の日時でのサイトの状態をプレビューで確認できること。
	3-62	プレビュー画面ではブロック単位でページの内容を直接編集できること。
	3-63	プレビューからページやテンプレートの編集画面に遷移できること。
フォルダ	3-64	フォルダの階層に制限がないこと。

	3-65	ある階層下のフォルダを別階層下に移動できること。
	3-66	権限によって、管理できるフォルダを設定できること。
カテゴリ設定	3-67	ページ作成時に容易にカテゴリの設定を行えること。
	3-68	一つのページを複数のカテゴリに登録できること。いつでもカテゴリは変更できること。
	3-69	作成済のページを、別のカテゴリに容易に変更できること。
	3-70	カテゴリを自由に作成・編集できること。
	3-71	カテゴリの統合、分割が可能なこと。このとき、ページのカテゴリチェックは維持できること。
	3-72	階層を持ったカテゴリの作成が可能であり、カテゴリごとのページ一覧を生成すること。
	3-73	カテゴリに、一覧ページ等で表示する説明文を設定できること。
画像・添付ファイル	3-74	簡易な操作でページ内に画像を配置できること。
	3-75	画像をアップロードする際に、自動でサムネイル画像の生成ができること。サムネイル画像をページに挿入した場合、自動的に原寸サイズの画像へのリンクが設定され、新しいウィンドウで開かれるようにできること。
	3-76	登録可能な画像はビットマップ、JPEG、GIF 及び PNG を必須とすること。
	3-77	画像の代替テキスト(ALT 属性)は、未入力を選択できること。
	3-78	画像に説明やリンクをつけられること。
	3-79	ページに PDF 等の各種文書ファイルをリンクできること。
	3-80	添付ファイルの表示名は容易に設定が可能なこと。
	3-81	リンクした文書ファイルの種類(PDF、Microsoft Word 等)及びサイズの表記が自動で挿入されること。
	3-82	ファイルはドラッグ & ドロップによりアップロードできること。
	3-83	ファイルの種類別によって容量の制限ができること。
	3-84	画像は上限サイズを指定でき、上限を超えた画像は自動的にリサイズされること。
	3-85	添付ファイルの種類に応じたアイコン画像の設定が可能なこと。
	3-86	画像ファイルのリサイズが可能なこと。
	3-87	画像ファイルはトリミング、回転等の編集が可能なこと。
	3-88	添付ファイルを貼り付ける際は表示ファイル名を任意に指定できること。
3-89	画像は右クリック以外の方法でダウンロードが可能なこと。	
リンク	3-90	リンク先を表示する際、別ウィンドウで開く設定が可能であること。
	3-91	各ページに関連のあるページを、「関連情報」として所定の位置にリンク付きで表示できること。
	3-92	サイト外にあるページヘリンクを設定した場合には、リンク文字列の後ろに「外部リンク」などの文言を自動挿入できること。
	3-93	ページを非公開にし、又は削除する際に、他のページから該当ページヘリンクがあった場合、注意喚起されること。
動画	3-94	CMS で作成するページ内に、YouTube に掲載した動画が埋め込み再生できること(タグ等による映像の埋め込みに対応できること。)
サイトマップ	3-95	サイトマップは自動生成されること。
携帯・スマートフォン対応	3-96	Docomo、au 及び Softbank の 3 キャリアに対応したページ作成ができること。
	3-97	携帯・スマートフォン用のページのプレビューができること。
	3-98	PC用ページの作成時に携帯用ページを自動で作成すること。
	3-99	携帯用ページでは、画像がサムネイルサイズで表示されること。

	3-100	携帯用ページは最大サイズを設定できること。また、データ容量が大きいなど携帯サイトでの表示に適さない場合のチェック機能があること。
	3-101	レスポンスウェブデザインによるスマートフォン対応を行うこと。
	3-102	スマートフォンページからパソコン用ページへの切替えボタンを自動生成できること。

4. CMS(自動更新、自動生成機能)

項目	番号	内容
ページ一覧	4-1	更新した情報を、公開日順により「新着情報」としてトップページに表示できること。
	4-2	公開日順以外に更新日順、指定順、タイトル順等での表示設定も可能なこと。
	4-3	トップページの「新着情報」の掲載件数を超える新着情報は、一覧ページとして別途表示可能であること。
	4-4	ページ作成時に入力した一覧用タイトルを優先して表示できること。
	4-5	ページを作成しなくても、新着情報やお知らせの欄に文字を掲載できること。
	4-6	新しい情報は一定期間「New」アイコンなどを表示できること。
	4-7	「New」の他に「Topics」等、任意のアイコンを表示できること。
	4-8	ページのサムネイル画像を表示できること。
	4-9	自動で掲載されるリンクの表示項目(ページタイトル、更新日付等)は、管理者が変更できること(例:表示項目にサマリーを加える、日付を表示しない等)。
	4-10	「新着情報」に表示されるリンクの件数及び表示順を、管理者が任意に変更できること。
	4-11	他サイトのRSSを取得し、新着一覧に取り込めること。
	4-12	特定の送信元からのメールをコマンドから取り込み、ページとして公開できること。
	4-13	ページ一覧をブログのようにタイトル、本文、カテゴリ等が展開された状態で表示可能なこと。
	4-14	課や係別のページ一覧を作成できること。
	4-15	月別のアーカイブ表示が可能なこと。
	4-16	無限スクロール形式の一覧表示に対応可能なこと。
パンくずリスト	4-17	各ページの同じ位置にパンくずリストを自動生成できること。
	4-18	パンくずリストを自動生成したとき、ページタイトルを自動的に引用できること。
	4-19	複数のカテゴリを設定している場合は、複数のパンくずを設定可能なこと。
	4-20	ページタイトルにサイト名を併記して表示できること。(例:ページタイトル/荒尾市)
ナビゲーション	4-21	カテゴリー一覧やページ一覧などのナビゲーションを自動生成できること。
	4-22	対象ページが公開された際、ナビゲーションも自動で更新されること。
RSS 出力	4-23	サイト全体又はカテゴリごとの新着情報をRSSフォーマットで出力できること。
イベントカレンダー	4-24	作成されたページを内部リンクとして埋め込み表示できるイベントカレンダーを作成できること。
	4-25	カレンダーの表示は、表形式とリスト形式を選択できること。
	4-26	イベント情報をイベント日、カテゴリ等で検索できること。
	4-27	ページ作成時に、イベントカレンダーへの掲載有無、掲載日及び掲載名を設定できること。

	4-28	ページ作成時に、申込締切日を設定できること。
	4-29	イベント日は定期・不定期で指定できること。
	4-30	イベントカレンダーには祝祭日等が設定されること。
	4-31	カレンダーへ iCal 形式のファイルをインポートし、他のカレンダーと連携が可能なこと。
	4-32	iCal 形式での取り込み時にカテゴリを設定可能なこと。

5. CMS(付加機能)		
項目	番号	内容
アンケート機能	5-1	テキストエリア、ラジオボタン、チェックボタン及びリストボックスを自由に配置したアンケートページを作成できること。
	5-2	フォームからのファイル投稿が可能なこと。
	5-3	GUIでフォームを作成し、入力項目、必須項目、入力形式等の指定ができること。
	5-4	同時に複数のアンケートが設定できること。同時に開設できるアンケートページ数に上限がないこと。
	5-5	各アンケートページ内の設問については、その設問数に上限がないこと。
	5-6	利用者が送信前に内容を確認可能なこと。
	5-7	画像認証が可能なこと(スパム投稿対策)。
	5-8	投稿者への通知メールが自動送信可能なこと。
	5-9	管理者への通知メールが自動送信可能なこと。 通知メールの内容に投稿内容を含むか否かを選択できること。含まない場合は、管理画面内の回答の URI を記載すること。
	5-10	自動返信の文章は任意に設定が可能なこと。
	5-11	問合せ内容に特定のキーワードが含まれる場合、指定メールアドレスに転送できること。
	5-12	問合せフォームには、返信が必要又は不要の選択ができ、返信が必要な場合はメールアドレスの入力を必須にできること。
	5-13	各ページ下部にこのページが役立ったか等を問う、簡易アンケートフォームの設置が可能なこと。 簡易アンケートフォームでは、ページごとの回答結果を確認できること。
	5-14	日時指定によるアンケートの公開及び削除が可能なこと。
	5-15	管理画面内でアンケートの集計結果を確認できること。
	5-16	集計結果を CSV 形式でダウンロードできること。
	5-17	アンケートの集計結果をグラフ形式で公開できること。
	5-18	回答一覧を CSV 形式でダウンロードできること。
	5-19	回答データから FAQ ページを作成できること。
FAQ 機能	5-20	よくある質問(FAQ)ページが作れること。
	5-21	CSV による一括登録ができること。
	5-22	カテゴリ機能を有すること。
	5-23	キーワードによる検索が可能であること。
アクセス解析機能	5-24	Google アナリティクスなどの導入によりトップページ、各ページ単位及びバナー単位でクリック数を集計し、解析結果は、CSV ファイルなどで保存・出力できること。
	5-25	閲覧者の使用するブラウザ、OS 及びモニタサイズが集計できること。
	5-26	閲覧者の接続ポイント(都道府県)が集計できること。
	5-27	ページにたどり着くに当たって、ブラウザで検索したキーワードが分かること。

	5-28	添付ファイルのダウンロード数をカウントできること。
サイト内検索	5-29	キーワードでサイト内のページが検索できるよう、検索の入力フォームを全ページに配置すること。
	5-30	検索は、フリーワードによる全文検索ができること。
	5-31	検索対象から外したいページは除外 URL として登録できること。
ふりがな・よみあげ機能	5-32	ページの表示内容にルビを振る機能を搭載していること。
	5-33	ページの表示内容を読み上げる機能を搭載していること。
	5-34	ふりがなと読み上げに必要なユーザー辞書を設定できること。
	5-35	ルビ振り機能の利用に際し、ソフトウェアのダウンロードやインストールは不要であること。
その他	5-36	災害時にトップページのデザインを即時に切替え可能なこと。
	5-37	異なるドメインのサイトを1システムで複数管理できること又は特定のディレクトリ配下を別サイトとして管理できること。
	5-38	登録されているサイトを複製し、新たなサイトを作成できること。
	5-39	サイトを丸ごとエクスポートし、別のサーバー・データベースへインポートできること。
	5-40	HTMLファイルをフォルダごと取り込んで、CMSで管理できること。
	5-41	システムのバージョンアップによる影響なく稼働できること。

6. CMS(サイト管理機能)		
項目	番号	内容
権限権利	6-1	1つのページに対して、複数のユーザーが編集権限を持てること。また、権限のないページは編集ができないよう、制限を設けられること。
	6-2	部署、ユーザーごとに操作権限の及ぶ範囲を設定することができること。
	6-3	ログインするユーザーIDにより、権限に応じた画面が表示されること。
	6-4	作成者及び承認者は、担当外のページの修正は行えないこと。
	6-5	作成者及び承認者は、自身が所属する部署及び操作権限が設定されている部署のコンテンツを一覧画面で確認することができること。 また、下書き状態や承認待ち状態のコンテンツを絞り込んで確認できること。
	6-6	管理者が全てのコンテンツについて即座に公開・削除できること。
	6-7	同一部署内でも、ユーザーごとに操作権限の及ぶ範囲を変更できること(例:課長のみ編集可)。
操作履歴	6-8	ページの公開・削除といった履歴をログとして残せること。
ユーザー管理	6-9	管理者は、CMSの管理画面上でユーザー情報の修正、追加及び削除が行えること。
	6-10	ID、パスワードを上限なく付与し、管理者が容易に管理できること。
	6-11	パスワードポリシー(桁数、有効期限、文字種制限等)が設定できること。 以下の設定が行えること。 ・パスワードの最小文字数 ・パスワードに含む数字の個数(以上) ・パスワードに含むアルファベットの個数(以上) ・パスワードに含む記号の個数(以上)
	6-12	パスワードの有効期間の設定又は無期限が設定できること。
	6-13	LDAPを使用することで、認証基盤とユーザー情報を連携できること。
	6-14	ユーザー情報を、CSVファイルを介してインポート及びエクスポートできること。
災害管理	6-15	災害発生時など、トップページの目立つ位置に緊急情報を表示できること。

	6-16	大規模災害時には、管理者による簡易な操作でトップページ全体のデザインをテキスト中心のデザインに切り替えられること。
その他	6-17	管理者向けのお知らせ機能により、メンテナンスや重要情報を通知できること。 掲載箇所はログイン画面又はログイン後の画面を選べること。
	6-18	管理画面は、スマートフォン、タブレットでも全ての機能がPC同様に操作できること。
	6-19	管理画面内でサイトに登録されている全コンテンツから、タイトル、ファイル名、管理グループ、公開日時、最終更新日時、状態、コンテンツ種別、カテゴリ等の条件でページを検索できること。 ページタイトルの検索は完全一致ではないこと。
	6-20	サイトに登録されている全コンテンツの一覧をCSVで出力できること。 出力内容にはURL、管理グループ、容量、コンテンツ名、公開日時、最終更新日時、状態、コンテンツ種別、カテゴリ、添付ファイルの有無等を含むこと。
	6-21	出力した全コンテンツ一覧CSVを編集し、インポートすることで、コンテンツの一括変更が可能なこと。
	6-22	事前に用意したコマンドを管理画面から実行し、コンテンツ及びページを公開サーバに即時公開できること。

7. CMS(承認ワークフロー)

項目	番号	内容
基本仕様	7-1	コンテンツの承認機能を有すること。
	7-2	承認依頼をキャンセルし、ページ内容を再編集できること。
	7-3	承認依頼時に、承認者に対してメールによる承認依頼が送信されること。
	7-4	承認依頼時のメールにコメントを付記できること。
	7-5	承認者は、承認依頼を受けたページを否認する際、作成者向けにコメントを追記できること。
	7-6	複数の承認者に依頼した場合、最低承認者数を超えたら承認したことにできること。
	7-7	差戻しの際、承認依頼者にメールで知らせること。
	7-8	2段階以上の承認ルートの設定が可能なこと。
	7-9	2段階以上の承認では、直前の承認者に差し戻すか、申請者に差し戻すかを設定できること。
	7-10	2段階以上の承認では、引上げ承認が可能なこと。
	7-11	必要と思われる承認ルートを事前に作成し、それを利用できること。
承認依頼中の修正	7-12	承認依頼中のページを作成者自身がキャンセルし、ページ内容を再編集できること。
	7-13	権限を与えられた承認者及び公開責任者は、承認依頼を受けたページを上書き編集できること。
	7-14	経路変更を許可されたユーザーのみ、申請後に申請経路の変更が可能であること。

データセンター要件一覧

1 データセンターにおけるシステム運用に関する要件

項目	要件
セキュリティ	情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 又はプライバシーマークの認証を受けた組織内で、システムが安全に管理されていること。

2 建築に関する要件

項目	要件
耐震性	震度 7 クラスの地震に耐えうる堅牢な耐震構造であること。

3 防犯設備に関する要件

項目	要件
施設入退館管理	全ての入退室情報が記録され、一定期間保管可能であること。
	入退室管理(IC カード等)する設備又は同等の設備を有していること。
	建物やサーバ室への監視カメラ等によるセキュリティ監視を 24 時間 365 日実施していること。

4 防災設備に関する要件

項目	要件
水害・火災予防・避雷	火災、水害、落雷等の影響を受けにくくする設備を備えていること。
	機器や記録媒体に影響を与えない消火薬剤や消防用設備等を備えていること。
マシン室消火設備	ハロンガス消化設備を備えていること。
火災検知	火災早期検知システム備えていること。

5 電源設備等に関する要件

項目	要件
冗長性	電気設備及び空調設備については全て N+1 以上の冗長性を有していること。
予備電源 (自家発電設備)	停電時にシステムを運用するために十分な電源容量を持つ非常用自家発電装置を備えていること。
	自家発電装置の燃料容量は 48 時間以上継続運転が可能な保有量であること。
無停電電源装置(UPS)	無停電電源装置を設置していること。
	停電時に自家発電装置が安定的に起動するまでの間、瞬断することなくシステムに十分な電力供給が可能な無停電電源装置を設置していること。無停電電源装置は冗長構成がとられていること。

6 運用実績要件

項目	要件
運用実績	自治体情報システムに関するサーバの稼働実績を過去 3 年以内に有すること。

減災システムとの連携について

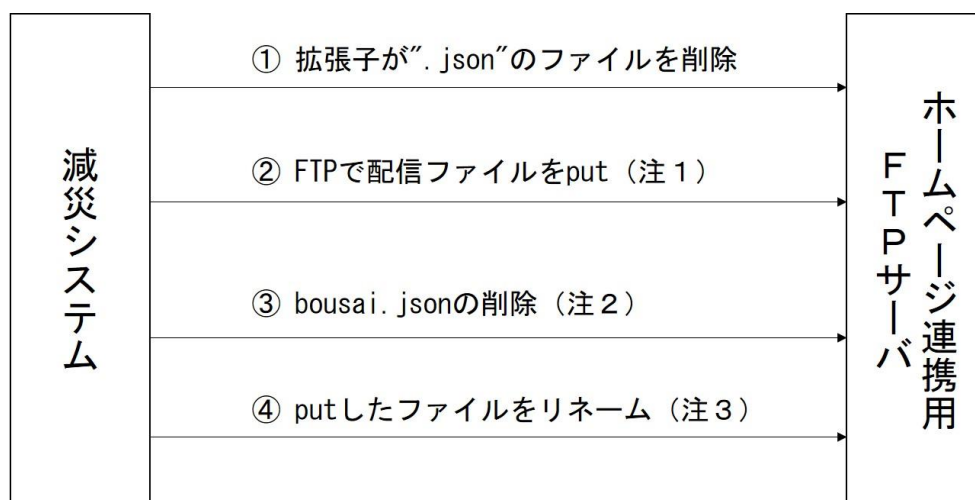
- ① 減災システムのホームページ連携概要は以下のとおりである。
 - (1) 減災システムが FTP サーバに FTP 接続し、ホームページ掲載用のレコードを含む JSON ファイルを Put する。

Put する際の具体的な処理は以下である。

 - (1-1) 最初に拡張子が「.json」のファイルを削除する。(古いファイルを削除するための処理)
 - (1-2) ファイル名「YYYYMMDDhhmmss.json」を Put する。
 - (1-3) ファイル名「bousai.json」を削除する(1-1の処理で削除しているが、念のため削除する。)
 - (1-4) 上記の「YYYYMMDDhhmmss.json」を「bousai.json」にリネームする。
 - (2) 荒尾市ホームページの TOP ページがリクエストされるたびに JSON ファイル (bousai.json) をレコードとして読み込み、以下の処理を行う。
 - (2-1) JSON ファイル (bousai.json) のレコードデータ(タイムスタンプ)をもとに対象のレコードがあれば、その内容をホームページに掲載する。
 - (2-2) 掲載後に、レコード内のタイムスタンプを元に3日間(*1)ホームページに掲載し続ける。
 - (2-3) 掲載範囲の3日を過ぎたものは、ホームページに掲載しないようにする。
 - (2-4) 掲載範囲の3日間内のレコードがなくなった場合は、ホームページ上から該当の掲載項目を非表示にする。
 - (*1)表示する期間は調整可能とする。
- ② 減災システムからホームページ掲載用のレコードを含む json ファイルを FTP で受信するための FTP サーバ機能を有すること。
- ③ 減災システムから FTP 接続するために FTP サーバに専用アカウントを作成すること(アカウント情報は別途指示)。
- ④ インターネット経由で FTP 接続するため、FTP サーバは、接続元 IP アドレスの制限機能を有すること(許可する IP アドレスは別途指示)。
- ⑤ FTP サーバは、次の設定項目に対応できること。
 - ・ポート番号指定(21を予定)
 - ・Put するファイルの出力先フォルダ指定
 - ・動作モード指定(ACTIVE/PASSIVE)
 - ・ファイル転送モード指定(ASCII/BINARY)

⑥その他参考情報（IF仕様等）は次のとおり。

1. 連携仕様



FTPクライアント

FTPサーバ

- (注1) リネーム前のファイル名は次のとおり。「YYYYMMDDhhmmss.json」
(注2) ④のリネーム処理のため、もう一度「bousai.json」を削除する。
(注3) リネーム後ファイル名は次のとおり。「bousai.json」

2. サンプルファイル

以下を参照。(bousai.json)

(ホームページ連携のサンプル電文)

```
{“Information”:[{“Date”：“2017/07/12 17:07”,“Text”：“こちらは〇〇市です。¥r¥n  
ただいま、配信テストを行ってあります。¥r¥n 配信テスト2回目”},{“Date”:  
“2017/07/12 16:57”,“Text”：“こちらは〇〇市です。¥r¥n ただいま、配信テストを行  
ってあります。¥r¥n 配信テスト1回目”}]}
```

3. その他

以下の文字列については、HTML エスケープして出力する。また、本文中に含まれる改行コードは、文字列“¥r¥n”に変換する。“ATTACHED_FILE_1”についてはエスケープ、改行コードの変換の対象外

エスケープ前	エスケープ後
<	<
>	>
”	"
'	'
&	&
(改行コード)	¥r¥n

ホームページ連携 配信 JSON ファイル IF 仕様

項番	論理名	物理名 (キー)	型式	繰り返し回数	期待値	備考
1	ホームページ配信内容	Information	JSONObject	1		
2	配信日時	Date	String	1-n	yyyy/MM/dd HH:mm	出力する履歴分 (1 件以上) 繰り返す。 出力順は日付降順
3	配信件名	Title	String			
4	配信本文	Text	String			
5	その他情報	OtherInfo	String		""	常に空となる。